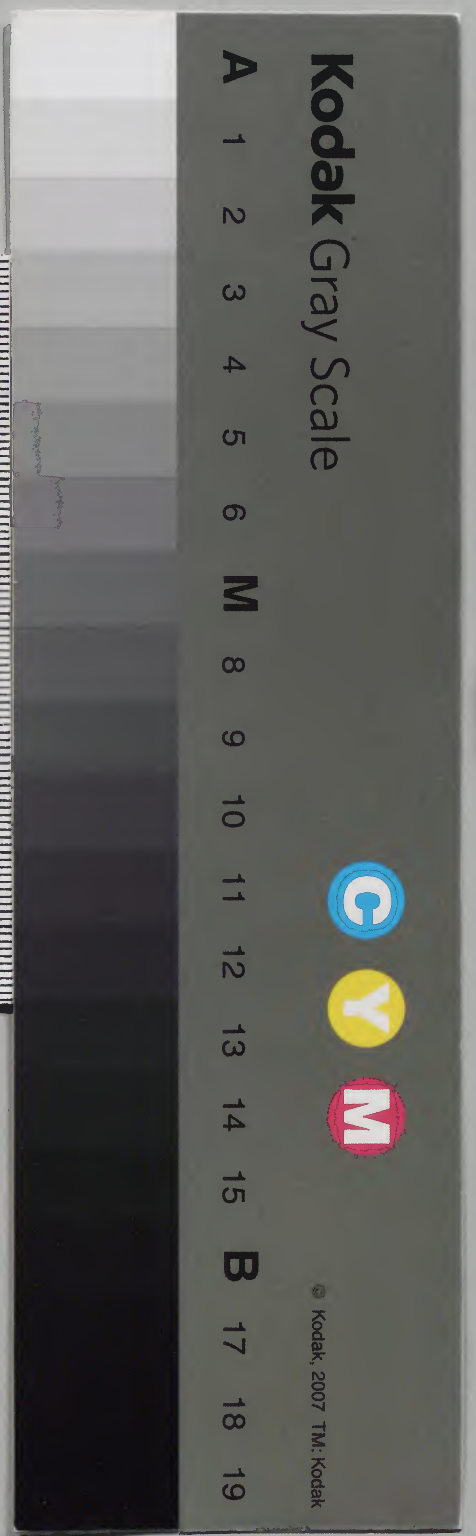


再板 增補
 経惣麻子名所全
 寅

和書門類			
二	二	二	二
三	七	七	八
七	七	八	八
八	八	八	八
冊	架	函	號

庫	文	閣	内
四	三	三	和
五	一	七	書
	三	七	
	八	八	類
	冊	號	

内閣文庫	
番號	和 23778
冊數	13 (3)
函號	174 20



明治九年十月...

再訂江戸總蔵子新增大全卷二

奥村玉華子編纂

佛閣類聚

天台宗

東叡山寛永寺園頓院

上野

△用山為眼大師 寛永九年榮創

比叡山延壽寺松林寺住持渡邊綱家乃

涉初形跡多々 寺名甚多如朱

△日光清門王一品法親王の涉教

涉寺坊と稱と 中堂の法

△根本中堂 南向三十八号 長廿六号 横十八号

瑠璃殿と号以 之祿十年所建立

万十一年九月六日

勅額到着 右上堂乃宸筆

新訂江戸總蔵子卷之二

△田舎の歌 寛永寺とあり
後水尾天皇勅多あり

△文殊樓 吉祥園 本願院と清光

△法華堂 常行堂 後水尾あり

尾別紀別 本願より清建よりあり

常行堂の心廊下に多指ありの唐土多
物を多ありなりと

△雲水塔 三重 中堂の南立

△輪藏 日

△竹臺 大ありあり

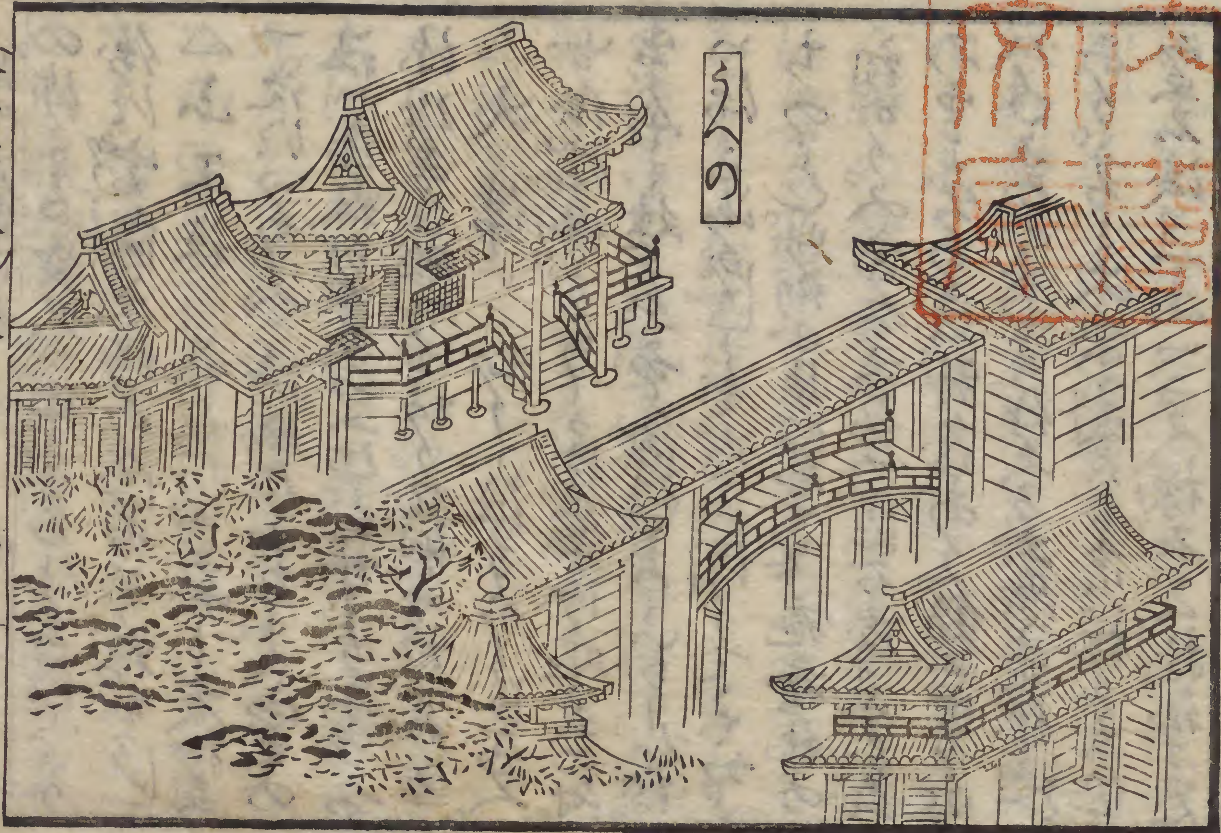
△雲社 中堂の南立

△鐘樓 三層の法入大ありありありと

之清と此清樓の土井家此建ありと云々
と水涵乃此土井家の故あり

△日光寺宮 三重の塔立 清光尚 寒松院

△清 水 かしこ子観音 土井家御初



うへの

の作多き堂久が守り多と云傳くより
 傳に宝篋印塔ありしありし標を多し
 △山王社 社門西委し。茨柳立
 一説に山王一湯城ゆふ立し。山王の
 社の高社ありしなり。社地より東平本
 源川を流し。眼下よりして懸をたぐわは
 △大佛 むしり山王よりし由人
 世俗傳傳と云り。中堂湯建之の付
 常今も建多。多るれり。いふ。山王
 の伝は此ありしと云。今も切りてと云
 古の之。此例不牛頭天王。龍窟社の
 初あり。又高本大仏のし。茂り。多
 の中。出ある物多あり。銘も宮家
 八子。夏冬十七日。修久乃大膳亮。後之
 あり。方と大余。表の七中。に切りてと云
 堂不流り。一丈一二尺。標石之抱。初見

ゆる。修久乃し。うらひ大為に。諸侯の
 刻かり。今い。湯籠寺。今少あり。
 此の乃物多。系初も禪寺。尾別。後
 印あり。あり。何と。も。結。之。風。を。を。を。
 △時の鐘 大佛乃。古。の。鐘。の。多。他
 に。異。あり。被。り。あり。あり。山。あり。湯。あり
 を。あり。あり。あり。あり。あり。三。寺。寺
 の。鐘。法。乃。多。れ。葉。縣。何。と。も。同。一。音
 也。と。云。安。さ。る。事。も。何。り。如。ん

△地蔵堂

△元三大師 寺。山。別。法。寺。如。の。寺
 本。師。氏。母。の。物。初。氏。也。延。長。十。二。丁。申。年
 九月三日。舟。路。延。諱。良。源。寛。和。元
 乙酉。正月三日。遷。化。縁。起。世。人の。如。處
 中。寺。好。し。湯。也。無。事。大。海。と。云。す

△慈眼大師 本。土。奥。別。會。津。如。高

四の芦名修和方美譽るの一属也。亦
 源の義沈乃末子ありとも云。和とて
 大師常流人の同了ん。氏も年も忘れ
 了。つ交りて了るへぬま。あつてまう
 中し。そつり新法は道い。ま移世初人
 あり。律ハ天海定所廿癸未十月二日
 遷化。名善善能見定て末大海と号以

△慈眼大師堂 浄寺坊の末屏風故の上

△慈惠大師靈像 民部付船具吉公文

て中し。寺体影像あり

△慈眼大師靈像 辨地法眼探幽筆

△元龜二年未九月十三日織田信長公

ふ門を破り。兵火に露く。拈香中堂

以下灰燼と云。あり。寺の佛身福

成坊。ごう大師の影像。西園梨公乃

善く味法す。民部付船の押字を

浄形を公取めく。後よ厚い香芳

谷紙抄く。作本村より出。花露院浄

光院をけぬ。元後二百人好お後。此

道舟も軍勢中れぬく。あり。一人も透

さ。ゆも多れ。福茶坊の云。元三大

師の靈像を供をす。この事。苗子

乃將。寄居園白の事。本下若者所と云

一。ふ河。ま。あるより下りて。名像を詳

し。ま。軍。て。名。種。多。了。ま。より。像

田乃流。あり。新田井の寺より。西。其

多。修。長。一。天。西。中。法。道。再。公。軍。布

山。つ。再。興。立。り。丸。福。如。坊。名。像。を。拈。香

舟。名。有。り。あり。ふ。以。四。重。修。名。不。安

量。一。あり。又。民。部。付。船。具。吉。公。文。を

新。い。修。像。の。團。出。法。持。名。也。不。安。定。し

寺。り。を。實。承。十。七。年。慈。眼。大。師

- △ 屎風坂 浄妙坊あり東
- △ 伝説坂 びやぶ坂の東水
- △ 下谷口あり 浄法寺あり
- △ 日 少く 懐徳院のうらあり
- △ 坂あり 行徳坂下寺あり

○ 谷中 天台宗寺院

○ 長耀山感應寺 上野末 寺住持 谷中

△ 用山日蓮上人二世中老日源上人
 正和元年乙卯九月十三日遷化。其好
 修くは種々おぼろ人まかりに。荏原
 郡碑文答の日耀上人、其徳の著し
 乃後多ん事成懇ひ。彼山に傳ふ。
 南とて兼帯して。法流を轉る。元
 禄年中、故ありて天台宗に改らぬ

△ 本堂 毘沙門天

△ 毎年山に九月十四日富実あり

○ 塔頭

- 瑞雲院 菩提院 山神院
- 了徳院 旧徳院 普賢院
- 祐泉院 安立院 龍珠院
- 了音院

延享六年辰三月二日の災山所瑞林寺

より出火の災山寺塔頭焼失あり

- 清林山大泉寺 東光院末
- 弘隆山總持院 東光院末
- 鶴林山泰然寺 東光院末
- 光雲山法務院 東光院末
- 倍増山金嶺寺 上野末 金嶺の社
- 日登山妙林寺 碑文谷末 三徳
- △ 南寺山あり 八日堂宗之之禪堂中

天のうらみ改む碑文谷と何れ地茨城松原
が墓あり本名春翔は名経管院日宗と号

○同所 志云宗寺院

○彌陀光の長久院 弥勒寺末

△飯繩の勅出を以てその御教御親堂
が形多下流の末あり其流殊緒の末

○長谷の賀納院 日末

○本覚山桑光寺自持院 日末

○宝塔山多矣院 湯宿根寺末

○蓮葉山親吉寺 弥勒寺末

○天竺山明善院 日末

○佛剎山末性院 日末

○醫王山親初院 日末

○補陀山養福寺 日首里

△本食義之用奉 百親寺

○同所 禪宗佛圖

○楞伽の天眼寺 妙心寺末

○祝融の瑞松寺 日

○童真の臨心寺 大徳寺末

○清徳の興隆寺 中法興寺末

○方丈の永久寺 西林寺末

○海中の天徳院 法泉寺末

○丈道の長安寺 日

○福雲の海岳寺 日

○望海の玉林寺 吉福寺末
古暦廿二年

○同所 日蓮宗

○日長山領玄寺 為延末

△世後推の本寺と云ふ本末の相ありき

△開山日者上人身延二世の世日者上人此地

○慈雲山瑞林寺 身延市

△六六三像の釈迦堂

○塔院 本立院 本立院 辨仙院

○玄好院 系了院 足立坊 東御坊

○元好坊 玉泉坊 大系坊 常修坊

○瑞泉坊 東寺坊 大佛坊 常延坊

延享二年三月二日の書矣大本堂塔院

以下善く修むと云ふに余種感念す以下

乃梵刹也及喜家多々梵亡也此也七

○龍江山好持寺 中系山 三徳

△開山日者上人 修善寺の作冠子母林也至

寺中 修善院 栄樹院

○早梅山好修寺 相別好修系 谷中

○學修坊 正善坊 寺陽坊

○妙祐山宗林寺 系山寺系

△開山日者上人

△寺中 東山院 系立坊

了宜坊 修善坊 本修坊

○究竟山好情寺 系立系

○石園山好福寺 日者系

△開山日者上人

○長久山好常寺 系山系

○運立山要修寺 身延系

○松榮山袖相寺 小湊系

○正榮山好幼寺 徳院谷好系

△塔院 善好院 善通坊 善宗坊 了玄坊

○好修山信好寺 後別安好系

○長興山之善寺 仿丹好系

○系修山妙園寺 信善系

△開山系修院日者上人

△ 寺中 了念院

新成坊

○ 寂照心龍谷寺

寺別名芳妙尼寺

○ 長清心出雲寺

寺別名長清寺

○ 瑞雲心妙心寺

寺別名

△ 寺中 日登上人 之 和子 中 都立

○ 敬壽心佛心寺

櫻川町末

○ 佛壽心上野寺

玉川末

○ 寂靜心蓮花寺

寺別名

○ 大慈心延壽院

日

○ 延壽心長久寺

日

○ 妙月心本多寺

京本町末

○ 立光心西蓮寺

日

△ 開心日蓮上人

○ 大黒心伊豆寺

寺別名

△ 寺中 日蓮上人 之 和子 之 大黒心 寺

寺中 日蓮上人

○ 常親心安立寺

京本町末

△ 寺中 安立院

○ 光照心感應寺

高島町末

△ 林田心感應寺

○ 長昂心大徳寺

玉川町末

△ 寺中 久如院

○ 感應心金吾在寺

寺別名

○ 榮源心本壽寺

京本町末

○ 空室心本壽寺

城島町末

△ 開心日下上人

○ 日蓮心長明寺

京本町末

△ 寺中 日下上人

○ 長澤心本光寺

総別所末

○ 大法心一光寺

総別所末

△ 寺中 本壽坊

○ 就留寺

真間末

○ 天妙の大明寺 住持末

△ 用の大明寺 住持末

○ 方光の大明寺 住持末

△ 他教大明寺 住持末

△ 七年久成坊

○ 方光の長安寺 住持末

△ 南寺の大明寺 住持末

▽ 下谷 大明寺 住持末

予より下谷大明寺の住持末

御書に記す

○ 下谷 天台宗寺院

○ 東寺の大明寺 住持末

○ 西寺の大明寺 住持末

○ 南寺の大明寺 住持末

○ 大明寺の大明寺 住持末

○ 小野の大明寺 住持末

○ 今野の大明寺 住持末

○ 天妙の大明寺 住持末

△ 大明寺の大明寺 住持末

○ 同所 大明寺

○ 鐵砂の大明寺 住持末

△ 古刹十石 大明寺 住持末

○ 新羅の大明寺 住持末

○ 大乗院 住持末

○ 密岩院 住持末

○ 某寺の大明寺 住持末

○月明寺 西新院 日 下谷
 ○高橋寺 大野院 高橋寺 林清院
 △山と高野天十の河
 ○法性院 高橋寺 山の
 ○本老寺 高野院 龍泉寺 藤原寺 下谷 金板
 △高野寺 此寺 一の古のこく 此の古の
 寺の地古の 高野寺 今に高野寺 高野寺
 寺のこく 高野寺 高野寺 高野寺 高野寺

○同所 禅宗

○圓滿山 廣徳寺 大徳寺
 △天正十九年 小田原より移る
 △開山 希叟宗 禅師
 △塔頭 山中院 栄中院 物中院
 高野院 永野院 林徳院 貞照院

林番院 高野院 高野院 高野院
 ○法福寺 春山寺 高野院 下谷
 ○月光寺 高野院 高野院 下谷
 ○急水寺 高野院 高野院 下谷
 ○善徳寺 高野院 高野院 下谷
 ○廣澤寺 高野院 高野院 下谷
 ○天徳寺 高野院 高野院 下谷
 ○淨松寺 高野院 高野院 下谷
 ○淨園寺 高野院 高野院 下谷
 ○萬頂寺 高野院 高野院 下谷
 △高野寺 高野院 高野院 下谷
 ○社寺 高野院 高野院 下谷
 △林番院 高野院 高野院 下谷
 ○林番院 高野院 高野院 下谷
 ○林番院 高野院 高野院 下谷
 △高野寺 高野院 高野院 下谷

高野院 高野院 高野院 高野院

○ 妙法山天龍寺 大方廣未 板本

○ 智光山月例寺 金如摩未 法華寺

○ 智光山了淨寺 如多未 金板

○ 淨光山東湖寺 日 七水河

○ 法林山西慶寺 日 月本

○ 童湖山白象寺 寺別 長海寺 佛堂殿

△ 智光山智光寺 寺別 長海寺 佛堂殿

○ 智光山智光寺 曹洞宗 根者

△ 弁又天の寺あり名木の若又鏡の松と名

○ 東陽山正覺寺 如多未 法華寺

△ 高寺境内の山系村名所也。秋乃末に紅
錦繡ははるるあり。松中が初集して
乃まきり阿ふ。凡龍田のなるとありあり。
楓樹小跡に。名木の若又鏡の松と名
根者いふ。此地木の若又鏡の松と名



高寺の寺

内。善く皆持移乃。印系して。他本を
流第ニ。亦あぬの。於人此。阿。多。多。多。
流。も。あ。る。ま。う。但。一。本。机。帝。と。成。り。と。
其。便。多。く。あ。り。せ。し。あ。ら。ま。り。

○同所淨土宗佛圖

○神田の情陸を説く如雲寺 十八極林の内
古刹云々
△開山演法社如雲寺如雲寺情陸云々
相及於大塚村の人。五種乃二佛寺以之。
絶。多。く。あ。り。て。如。雲。一。奉。奉。上。人。乃。法。
嗣。々。々。々。如。雲。河。城。の。威。靈。々。々。々。々。如。
武。別。如。雲。谷。以。住。也。天。心。乃。未。上。別。被。林。
其。年。寺。以。若。別。此。地。の。二。里。也。法。云。々。々。
河。あり。也。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
歩。上。人。の。如。雲。寺。と。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。

と号を法元和子中。公命小依。法
乃如恩寺如依。一。每。日。の。如。云。々。云。々。云。々。
寺。以。開。法。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
ま。さ。し。師。の。意。教。を。承。り。あ。ら。ま。り。云。々。云。々。
お。と。し。考。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。
大。忠。と。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
一。夜。を。考。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。
血。經。の。出。也。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
其。の。神。附。て。法。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
と。云。々。人。の。如。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
是。乃。以。上。人。勢。別。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
宗。創。と。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
長。法。大。善。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
其。奉。一。如。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
と。建。立。一。如。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。云。々。
お。と。し。考。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。々。

新編古事記

麻生山院



大元

知有り。新書少し上人の紀名多し人
父を五林と云元和九年正月六日入寂
午時七十四と云。後人乃訂正侍リ

△南寺の河内天祥下板倉家の為妻地
にあり。河内郡の地。今此地は移る。高地乃
つとく此地よと云。法系出づ。妙覺と云
つとく此女の法名。王冬。妙覺と云。此の地
△悟真 山竜院 向旭院 玄龍院
知り。新書少し上人の紀名多し人

○知り。新書少し上人の紀名多し人
△河内郡法華社。今上人
△中興。第九世上寺。此社法重阿闍梨。高
天白。中若若河。下谷長者と云。若若河
乃檀有也。と云。河内郡中。若若河。高
乃再興つあり。常念仏乃場也

○知り。新書少し上人の紀名多し人
△河内郡法華社。今上人

新書少し上人の紀名多し人

十五

△用公檀越社雄公上人。上人の上縁
 天好和作貴人也。一説は後府の人と云
 一直故ありて序及び編所を以て。好再
 此の山に於て修光方了輝と。道凡四万
 意く。安以井のく。本公と用と。亦高
 を脚初。好公。大和郡。栗野。新築の地。を
 松平家。丹及。龜山。の松平家。淡路。山。の
 寺。守家。以上の二家より。之を。修光。の
 本堂。より。至。り。

○極楽の寂上寺 初巻末 坂本

△宗公初巻社る寺又休道和書

○宗法公初巻院淨軍寺坊上寺末 二のり

△用公天直社晴卷順波和書

○願向公の寺 初巻末 比のり

△宗公初巻社る寺又休道和書

○宗國公中巻院西合寺坐巻末 今板

○新巻の寺坐巻末 初巻末 坂本

○法海公の寺坐巻末 初巻末 下谷

○三巻の寺坐巻末 初巻末 下谷

○世公の寺坐巻末 初巻末 入谷

○佛公の寺坐巻末 初巻末 寺板

△用公意酌初巻末 初巻末 坂本

○山公の寺坐巻末 初巻末 坂本

△宗公天直社晴卷順波和書

○宗公の寺坐巻末 初巻末 坂本

△高古の寺坐巻末 初巻末 坂本

○月公の寺坐巻末 初巻末 坂本

○宗公の寺坐巻末 初巻末 坂本

○宗公の寺坐巻末 初巻末 坂本

○宗公の寺坐巻末 初巻末 坂本

○道公の寺坐巻末 初巻末 坂本

○道公の寺坐巻末 初巻末 坂本

○心光の大本音寺 初葉末 杉河
 △心光の大本音寺 杉河村の地
 ○湯島山長光寺 初葉末 杉河
 ○西蓮寺 初葉末 下谷
 ○法界寺 初葉末 三浦
 △用之無海和書

○月西一内宗寺院

○内岡山法善院名洞寺 東末末 土和
 ○之山山法善寺 初葉末 土和
 ○福成寺 初葉末 月西
 ○光明山法善寺 初葉末 土和
 ○長久山永福寺 西末 余秋
 ○法徳寺 初葉末 入谷

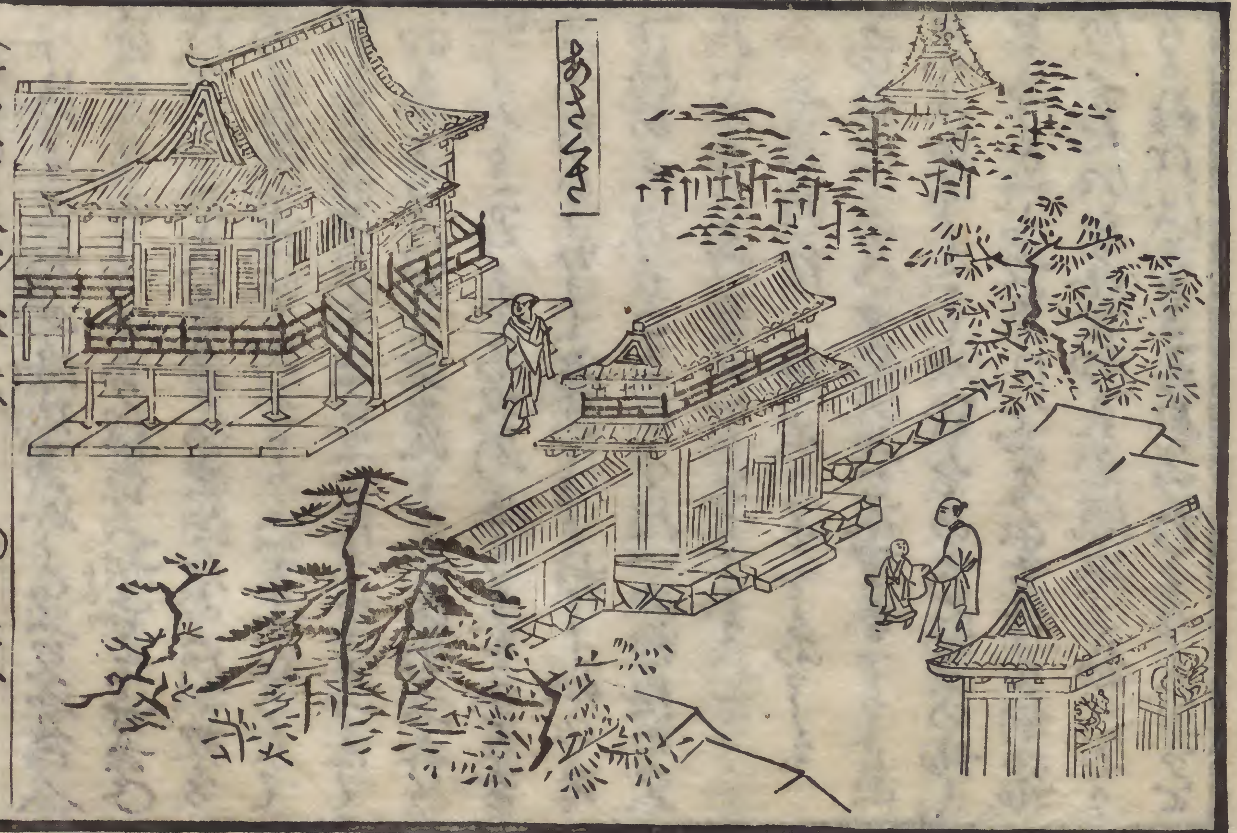
○同新日蓮宗寺院

○報新山宗延寺 初葉末 下谷
 △同山日精上人
 △寺中寺延院 西和院 土和坊
 ○妙光山宗延寺 初葉末 土和
 ○宝子山宗延寺 初葉末 土和
 ○宝塔山威徳寺 初葉末 坂本
 ○宗中山宗延寺 初葉末 土和
 ○佛光山宗延寺 初葉末 坂本
 ○長久山宗延寺 初葉末 東坂下
 △宝子山宗延上人 初葉末 土和
 △宝子山宗延上人 初葉末 土和
 ○宝林山宗延寺 初葉末 土和

- 本立山長西寺 隆平寺 隆平寺
- 榮珠山好那寺 好那寺 十所河
- 妙宣山徳天寺 中山末 上舟河
- 月照山法昌寺 光寺末 坂中
- 法住山安徳寺 小湊末 月尔
- 金竜山本光寺 光寺末 下谷
- 法住山普賢寺 龍山末 月尔
- 法住山普賢寺 龍山末 長尾坂
- 妙向山本教寺 月 坂中
- 靈鷲山普賢寺 大末 竹河

○ 浅草天仏園

○ 金龍山浅草寺傳法院古刹入百上末
 △ 高寺知吉其像人堂三十四代折去
 天皇の御宇進中臣と云人此所也



ては。その松尾成武如く。一見才人
漢末くありて。中尾孫吉。相方市世
戊子三月十八日。子の若洲。成武如
乃其像で得る。別あり。これにて
安室を翌日。その子。新り。十人。つきて
物事。てあり。い。物。若洲。より。光。わ。か。や。り
や。う。う。さ。か。つ。ふ。大。出。乃。像。あり。を。あ。く。あ
其の。あ。い。で。わ。り。藝。と。い。く。様。一。夜。の。音
て。あ。い。く。あ。い。さ。い。い。今。れ。一。の。様。現。の。文
其。此。あ。い。く。此。堂。の。四。つ。あり。と。い。く。

△三社権現 後成り。身。を。あ。い。く。と。い。く。
高社。定。る。中。れ。の。其。の。若。洲。家。より。一。造
其。一。様。と。い。く。その。中。の。い。く。の。古。殿。の。地。と。
若。洲。家。の。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。
深。井。村。の。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。
其。社。の。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。

一 傳。と。い。く。古。老。の。お。り。と。い。く。

△あ。い。く。三。月。十。八。日。満。年。

△十。社。権。現。 十。人。の。米。刈。童。と。い。く。

△人。曾。三。十。七。代。孝。徳。帝。大。兄。之。子。沙
の。孫。油。上。人。堂。様。已。下。建。立。あり。乞。引
高。寺。の。用。と。い。く。

△朱雀。帝。天。皇。五。年。安。房。九。國。と。い。く。
公。雅。再。身。と。い。く。亦。堂。様。の。三。手。塔。と。い。く。
建。立。一。田。宅。と。い。く。あり。

△七。十。一。代。白。河。帝。天。皇。十。一。年。十。二。月。四。日
四。録。と。い。く。な。る。法。院。の。法。堂。深。義。胡。末。孫
一。あ。い。く。と。い。く。四。録。の。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。
亦。身。入。後。と。い。く。何。と。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。
冷。と。い。く。深。義。の。孫。と。い。く。深。田。と。い。く。深。田。と。い。く。
之。と。い。く。書。身。あり。今。の。い。く。と。い。く。と。い。く。と。い。く。
△人。曾。八。十。代。天。皇。治。承。和。年。深。義。の。孫。

新。書。正。統。記。卷。之。二。 一。七。七。

世六河の田をてふ所あり。其後定利曾
 持院及寺領家所あり。又将軍義輝公
 のとき。少宗家再興して。忠告上人を
 召當とて。忠告乃先師出海三人の極
 乃後細川律師定禪の末葉。修也三河
 のあり。三河寺岩於れあり。末宗河
 門ありて。高寺の別當とて。三河寺修也
 寺とて。高寺とて。相傳を。元禄年中。故有
 て。知事院。修也。以。出。修也。上。修也
 と。知事院。修也。一。大。修也。建立。修也
 に。修也。修也。修也。修也。修也。修也
 高。修也。修也。修也。修也。修也。修也
 △本堂 南向 額 觀音堂 大納言 藤原 藤原
 △山門 額 淺草寺 筆者 不知
 毎年 修也 中 日 修也 七月 十六日 修也 修也 修也
 事 修也 修也

△雷林門 額 金龍山 三國 修也 修也
 修也 修也 修也 修也 修也 修也
 △鐘樓 裏の修也あり
 △時の鐘 錢塚 修也の社 修也
 △神明 修也社 洞窟 修也 修也
 △淡嶋社 石の修也 大 修也 修也
 日光 十七日 修也 修也 修也 修也

海島より一ヶ所を御事記の御事記と云ふ
神々長つた御事記の御事記と云ふ
△法供水の井 日永 孝子の法水と云ふ
△法供水の井 日永 孝子の法水と云ふ
△法供水の井 日永 孝子の法水と云ふ

△慈覺大師の御事記 慈覺大師の御事記

△三幸栢 三幸栢の中を御事記の御事記

△長石塔の御事記 長石塔の御事記

△特珍の繪馬 本堂の御事記の御事記

△荒澤不動 荒澤不動の御事記

△長石塔の御事記 長石塔の御事記

△特珍の繪馬 本堂の御事記の御事記

△荒澤不動 荒澤不動の御事記

△長石塔の御事記 長石塔の御事記

△特珍の繪馬 本堂の御事記の御事記

△荒澤不動 荒澤不動の御事記

古は胎之儀の事と云へり。一は中堂の
縁の事。御事記の御事記。御事記の御事記。
名畫の御事記。御事記の御事記。御事記の御事記。
力命と云ふ。御事記の御事記。御事記の御事記。
志願の御事記。御事記の御事記。御事記の御事記。
記一と云ふ。御事記の御事記。御事記の御事記。

△觀音勢至の御事記 觀音勢至の御事記

△寺別の御事記 寺別の御事記

△常念佛堂 常念佛堂の御事記

△錢塚の御事記 錢塚の御事記

△之米米の御事記 之米米の御事記

△相の御事記 相の御事記

△河の御事記 河の御事記

△義の御事記 義の御事記

△乃禪若の御事記 乃禪若の御事記

△本堂に後了りある廿の初元と將孫
の孫重信免なり

○塔頭 東例のみ

知光院 香社末務角 △麻鴉の社
天祥宮

正徳院 △秋葉の初

親明院 △無名天 △天宮

△高院より高院へ一ツはく造りし
宮ありて云はれしとて大基より彫刻の
深ありて彫刻より松竹末務院の託し

壽命院 △子傳地蔵 冥香あり

正徳院 △涅槃像 木像

長壽院 △善喜地蔵 △弟代地蔵

○塔頭 西例のみ

日音院 表林の西角 △古形文

親智院 △杉尾大西林の末

守善院 △百観音

月形院 △昆首翁作弁又天

梅園院 △釈迦堂△地蔵堂△仁王の像
各々あり

△高院の門外孔雀の彫物ありて
彫刻の妙あり

△少ありての彫物ありて
彫刻の妙あり

△刻しき彫物ありて
彫刻の妙あり

△彫物ありて
彫刻の妙あり

△彫物ありて
彫刻の妙あり

△彫物ありて
彫刻の妙あり

△彫物ありて
彫刻の妙あり

○月東中谷 山例

金剛院 △物玉堂

覚善院 △冥符あり

法善院 △冥一子社

△三邊寺社堂堂百遍法堂不世の場
明子院 △院は始りてありて

△本堂天井の泥ハ粉丹長修造ノ後ノ
 斗八彩瓦ノ像ハ粉丹ハ紙重修造ノ後
 △本堂階石右左ハ石敷修造ノ後
 ノ表竹若草等々多ク今ハ石ノ表
 少ク土軍赤土等々其場内石ノ表
 一更ノ形也

○東山ノ修造寺ノ末末末 上丹末 山向
 △開山ノ名方ノ師 月夜沙門一雨ニ法
 號ニ山ノ平動寺ハ其師ノ法流ニ
 多ク其末末末末末末末末末末末末
 寺ハ其末末末末末末末末末末末末

△此寺末末末末末 去日ノ作方何ノ修造
 教ノ末末末末末末末末末末末末末末
 修造ノ末末末末末末末末末末末末末末
 此寺末末末末末末末末末末末末末末

△寺中 宝壽院 貞妙院

明子院 不動院 妙光院

一高院 出雲院

南寺中ノ末末末末末末末末末末末末

○江北山宝壽院清水寺 上丹末

△此寺末末末末末末末末末末末末末末

△此寺末末末末末末末末末末末末末末

△此寺末末末末末末末末末末末末末末

寶珠院 常念佛堂 了了堂 了了堂
 海念 承 建 堂

○正保山醫子院東漸寺 上丹末 新修

△世修山ノ末末末末末末末末末末末末末末

○今別山末末末末末末末末末末末末末末

○清源山末末末末末末末末末末末末末末

○新修山末末末末末末末末末末末末末末

○新修山末末末末末末末末末末末末末末

又神田より信濃北入り此寺の西也
傍之彼地公之誓於古誓之云何舊年中
今乃地之誓也

○安養寺 誓願寺 寺殿石

△元禄年中用卷上人の御草創

用基塔院 味山院 仁壽院
味山院より御藏に移り此寺の西也
寺乃之地あり

△塔院 味山院 傾宿院 祿名院

安月院 清光院 西宗院 仁壽院

安照院 宗接院 徳山院 長壽院

九角院 孝性院 宗用院 林宗院

長安院

○仁用山常照院淨念寺 塔上り末 古院世末 新高

△淨念性卷上人露休大和智承元禄年中草創

△本寺何跡院末是竟大和末御草創像

所中其醫瑞宮其具收め出云

△新善堂 百忍寺 長安寺 是竟大師の作

△波唐天祥 法寺 塔内より御親の傍

△尚寺ハ元々より奉じあり空承十二乙亥

三月尚跡不稱

△塔院 惣信院 露休院 光徳院

月松院 源信院 祿宗院

○東光山西福寺 出願堂 之和山子 寺堂所

△岡山公堂社大卷上人願取和書 是竟榮

△本寺何跡院 出願跡院

△法守寺又天

尚寺後有上人之誓は是寺中後有

沙志塔の清河兵衛上人了定にて御草創也

△寺中 春白院 修教院 法林院

壽寺院 源宗院 出願院

智光院 林照院 長安院

年中尚所了務

△子孫報善之玉佛あり 世高き

△塔以先樹院久松院為佛院 松樹院

○田中寺 德中院 法光寺 坊寺 寺 寺

△用山信譽上人 中真寺 雲谷上人 四棒又
惠日あり

△塔以山 空院 松香院 報土院 念徳院

○珠波山 龍泉寺 西寺末 新寺末

△山 空院 念徳院 寺中 起立

△寺中 長壽院 沈月院 光徳院

得安院 祿名院

○用明山 空院 念徳寺 坊寺末 日所

○撰取山 通照院 初光寺 初慈院 日所

△園山 中興 萬巻上人

△寺中 松樹院 壽永院 久空院

○熊野山 依東院 空安寺 坊寺末 新寺末

○金龜山 寺院 空安寺 坊寺末 新寺末

○通照山 海光寺 坊寺末 日所

○新山 大徳院 法泉寺 坊寺末 日所

○宗者山 久保寺 日所

△園山 空安上人

○莊嚴山 清徳寺 日所

△宇山 空安上人 空安寺 坊寺末 日所

△五岳山 海空寺 日所

△海山 本食 冥心坊 坊寺末 日所

○正業山 空安院 坊寺末 日所

○竜泉山 空安寺 坊寺末 日所

△道蓮社 白岩 法鉄坊 坊

○空安山 空安寺 坊寺末 日所

△海山 空安上人

○易付の依師寺 坊寺末 新吉西

○天孫の慈眼院 日 日永

△阿比志の伊予守の寄像あり

○池守の正分寺 日 西番

△寺中二寺 柳宗院 宝雲院

△樵寺と名ふるは法堂の末の殿をり

△地務堂 常念佛あり

○蓮見の正定寺 日 新吉西

○通照の長流寺 智基宗末 日永

○白龍の光感寺 坊寺末 日永

△阿比志の法華社 英宗寺の末あり

○實義の九雨寺 智基宗末 山の宿

△阿比志の法蓮社 天竺の微和あり

○清光の涼源寺 日 新吉西

△阿比志の隆慶寺 上人の把和あり

○壽福の行出寺 日 日永

△阿比志の信蓮社 法華上人

○信公の正法寺 智基宗末 日永

○莊嚴の専念寺 智基宗末 日永

○信樂の正安寺 坊寺末 日永

○香中の正安寺 日 日永

△寺中 東樹院

○靈照の正光寺 日 日永

同所 禪宗

○大雄山海禪寺 坊寺末 法中後

△中無阿耨多羅三藐三菩提

△高寺の阿耨多羅三藐三菩提ありては業別

少くともありては名に阿耨多羅三藐三菩提

乃出るる阿耨多羅三藐三菩提の相あり

高寺に入りて阿耨多羅三藐三菩提と下すあり

とぞ。初湯湯くあり。四替年中今乃地
いづはる

○萬年山東湯寺 東湯寺 公新湯

△用山勅特賜大津雄神師

△子向新 塩内よりあり。寛文の頃ありを

こす。戸田茂隆と云人あり。子修治より

云。天和二年十八日新して東と山湯寺に

切築して石碑の傍より子向新と極く

凡の昔昔の東より先は此處湯法の子向新にて

茂隆のちいふ所より湯通ありと云

○浅茅山東湯寺 大平寺 新吉湯

○萬年山大松寺 大松寺 新吉湯

○竜徳山松湯寺 大松寺 新吉湯

○白雲山金松寺 白雲寺 新吉湯

○万壽山松湯寺 大松寺 新吉湯

○風形山長徳寺 長徳寺 新吉湯

○陽山山月院 山月院 新吉湯

○樵山山力寺 力寺 新吉湯

○山月山海雲寺 山月院 新吉湯

○万寿山新言寺 新言寺 新吉湯

△字山良山新言寺 天文廿〇日新言

○海湯山雲福寺 雲福寺 新吉湯

△開山普山徹和也 中興普山宏和也

○南島山東湯寺 大平寺 新吉湯

△天山山東湯寺 寛永十甲戌起立

○天竜山玉宇寺 玉宇寺 新吉湯

○片岡山初歩院 初歩院 新吉湯

○徳光山万壽寺 万壽寺 新吉湯

○天徳山本物寺 本物寺 新吉湯

○巨岳山曹徳寺 曹徳寺 新吉湯

○宝山中松林寺 松林寺 新吉湯

○吳山山新福寺 新福寺 新吉湯

△出雲守の古殿乃虎の石塔と云。此乃古
殿の石一ツあり。小田原よりある武家の子あり
跡あり。其を古殿に。怪失あり。其を
此寺に。其を免ら。其を



再訂江戸總蔵子新増大余卷二之上

